

2021 年度

講義科目名称： 日本史概説B

授業コード： 45021

英文科目名称： ---

開講期間	授業形態	単位数	科目必選区分
後期	講義	2単位	
曜日時限			
後期： 木曜5限			
配当学科・学年			
歴史2、人社2			
担当教員			
馬部 隆弘			
添付ファイル			

授業テーマ	近世日本の政治・経済・社会
講義概要	中世末から近代初頭まで、近世を中心とした日本の歴史について、政治・経済・社会などをテーマに検討する。 なお、河内を中心に近畿地方の身近な素材を積極的に取り上げる。
到達目標	(1) 中世社会と近世社会の相違について説明できる。 (2) 近世社会と近代社会の相違について説明できる。 (3) 近世の文化に関する教養を深め、現代社会との関わりを説明できる。
評価方法	平常点60%、テスト40%
フィードバックの方法	毎回配布する用紙に、意見や質問を書いてもらう。次回の授業時に質問に答えつつ、意見を紹介する。
評価基準	(1) 中世社会と近世社会の相違について ・前後の時代の基本的な流れを説明することができる。(可) ・前後の時代について、本質的な相違も含めて説明することができる。(秀) (2) 近世社会と近代社会の相違について ・前後の時代の基本的な流れを説明することができる。(可) ・前後の時代について、本質的な相違も含めて説明することができる。(秀) (3) 近世の文化と現代社会との関わりについて ・近世の文化と現代社会との関わりについて、概ね説明できる。(可) ・近世の文化と現代社会との関わりについて、実例に即しながら詳細に説明できる。(秀)
テキスト	適宜、資料を配布する。
参考書	適宜、指示する。
履修上の注意	きちんとした出席と受講態度が重要である。
準備学習<予習・復習の時間・内容>	予習に合計30時間、復習に合計30時間を必要とする。 事前に中学の歴史や高校の日本史に関する教科書・参考書を読んで予習しておくこと。 毎回配布するプリントやノートを読み返して復習しておくこと。
オフィスアワー等	授業終了後および水曜4限
備考・メッセージ	受講者の関心と理解の状況に応じて授業の進度や内容を適宜調整する。 中学校教諭1種免許状「社会」と高等学校1種免許状「地理歴史」の必修科目。 本授業では、地方公務員としての実務経験のある教員がその経験を踏まえて、日本史全体だけでなく地域史レベルの問題についても言及します。
ディプロマポリシー	歴史：DP2、人社：DP2
科目ナンバリング	歴史：HI-E-HA2002-A34、人社：HS-E-E22019-A3

授業計画						
回数	授業形態	担当教員	授業内容	到達目標		
1	講義	馬部	はじめに	授業の計画と目的を説明することができる。		
2	講義	馬部	近世社会の概観(1)	地誌から近世社会の特徴を読み取ることができる。		
3	講義	馬部	近世社会の概観(2)	近世社会の基本的特質が説明できる。		
4	講義	馬部	豊臣秀吉の政策(1)	豊臣秀吉の諸政策について概要を説明できる。		
5	講義	馬部	豊臣秀吉の政策(2)	豊臣秀吉の諸政策についてその狙いが説明できる。		
6	講義	馬部	検地と検地帳(1)	検地の仕組みについて説明できる。		

7	講義	馬部	検地と検地帳（２）	検地帳の作成手順が説明できる。		
8	講義	馬部	太閤検地と近世的身分社会	近世権力の諸政策とそれによって成立した社会を総合的に説明することができる。		
9	講義	馬部	小括	ここまでの授業内容を総括的に説明できる。		
10	講義	馬部	中世社会と近世社会の相違（１）	中世社会から近世社会への移行について説明することができる。		
11	講義	馬部	中世社会と近世社会の相違（２）	中世社会と近世社会の連続面と断絶面について説明することができる。		
12	講義	馬部	近畿地方における近世後期の村社会（１）	近畿地方における近世後期の村社会の特質について説明することができる。		
13	講義	馬部	近畿地方における近世後期の村社会（２）	近畿地方における近世後期の在村文化について説明することができる。		
14	講義	馬部	近畿地方における近代化の波	近畿地方における幕末の政治動向について概要を説明することができる。		
15	講義	馬部	まとめ	近世社会の特質を中世・近代との相違も踏まえて説明することができる。		

#### 授業方法

	学習方法	場所	教員数(補助者数)	教科書以外の教材など	時間(分)
	講義	教室	1	適宜プリントを配付	90分×15